

ひどい！あきれた！県民の願いどこへ



大木伝一郎議員

08年11月17日、千葉県後期高齢者医療広域連合の第2回議会が開かれました。

「これでは現代のうば捨て山だ」という国民の怒りと批判が高まり、舛添厚生労働大臣さえ「抜本的見直し」を口にするなかの議会で、日本共産党の2議員(大木伝一郎匝瑳市議、萩原弘幸芝山町議)は、県民の願いにこたえて奮闘しました。



萩原弘幸議員

日本共産党

わずか半日——議論の場といえるのか

最初に事務局から、「会期を一日とする」という提案がありました。共産党の大木議員は、「県民から不安や怒りがたくさん寄せられている。それでいいのか」と発言しました。

実際は一日どころか、午後からの開催なので半日の会期を、共産党2議員の反対を押しきって決めてしまいました。

保険料減免、保険証とりあげ中止を要求

共産党の2議員は、この制度の問題点を次々と指摘し答弁を求めました。

* 決算で12億円余りの繰越金があるなら、保険料の減額免除措置や市町村への返還を検討するべきではないか

* 保険料の徴収率はどのくらいか、保険料を払えない高齢者の保険証を取り上げるべきでない

* 県に支援は求めているのか、県独自の支援は一円も入っていないではないか

しかし、広域連合の答弁は、県民の願いにこたえる姿勢ではありませんでした。

“うば捨て山行きバス”のパネルに見入る

決算の認定では、共産党の2議員が質疑と一般質問にたちま



した。

萩原議員は、「料金も勝手に天引き」「早く死ねというのか」などのお年寄りの声を紹介し、「これは、舛添厚労相みずからがつくったイラストだ」と、パネルを示しながら「こんな制度は廃止しかない」と訴えました。ヤジを飛ばしていた議員も、パネルを興味深そうに見入っていました。

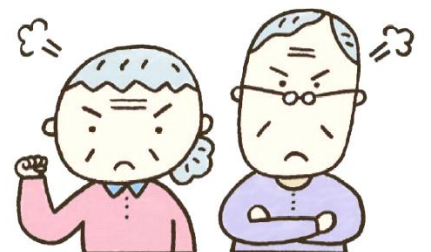


制度改善の陳情に共産党だけが賛成

千葉県保険医協会から、「年金からの徴収中止」など後期高齢者医療制度の最低限の改善を求める陳情が提出されました。

共産党の2人の議員は、自民党の長老議員からも制度への批判が出されていること、県内の大多数の開業医が求めている陳情であること、すでに県内10自治体議会で「廃止」などの意見書が上がっていることを指摘し、採択するように訴えました。

しかし賛成したのは共産党の2議員のみ。傍聴席からは、「意見書をあげた議会の代表が反対するとは、県民の声をなんだと思っている」という声が聞こえました。



中途退席者は1人に激減した

前回の広域連合議会では、中途退席者が16名もいたことを、この議会報告でお知らせしました。それが各地で話題となり、“中退については注意するように”となったのでしょうか、今回の中退者は1名でした。

＜千葉県後期高齢者医療広域連合議会を傍聴して＞

勉強不足だね～

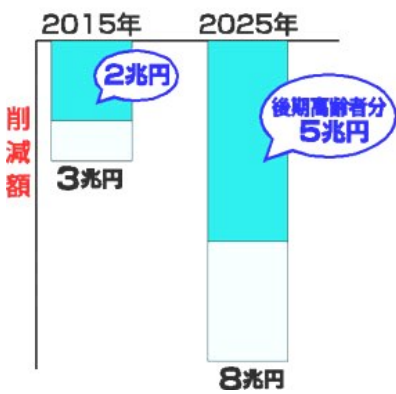
いつも通り、共産党の大木・萩原議員へのヤジが飛び交い、何の進展もないひどい議会でした。ただ、今回は途中退席の議員が一人だけ。「これだけは前進だね」と他の方も確認。舛添さんがつくった「バス」のパネルを議員が回覧してましたが、えらく野次を飛ばしてた人たちなんだけど、勉強不足だね～。陳情採択に反対した議員は、「天引きは高齢者の利便性のため」と自公の言い訳のまんまでした。【Sさん】



な疑問がぶつけられている様子で、共産党の発言に反論するにも、言い方に気をつけている様子がありあり。保険医協会の陳情に、「私は自民党員ですが、審議しないというのはまずい。そうかといって賛成はできないので反対します」と、なんともわけの分からない討論でした。事務局も議員も、現状を覆い隠す態度ばかりでした。【Hさん】

戸惑いに思いが及ばない

「後期高齢者」をねらいうちにした
医療費削減(給付費ベース)



事務局は、制度実施後の市民からの苦情や疑問の調査をしていないと言いますが、本当でしょうか？新しいことを始めた時は、その評判を気にするのが普通です。「とにかく政府の言うとおりにシステムを作ったからよし」と、75歳

以上45万人の戸惑いに思いが及ばない、まさにお役所仕事です。保険医協会の陳情に、廃止や見直しの決議をしている10市町村の議員までもが、反対したのには正直驚き、呆れました。【Eさん】

わけの分からない討論

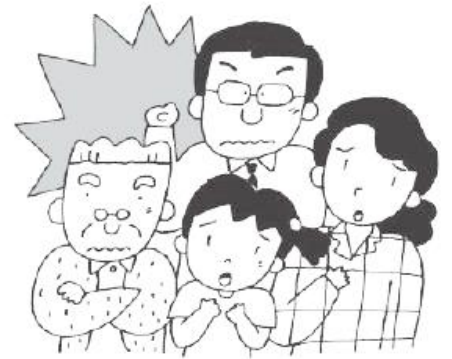
後期高齢者制度を推進する立場の議員でも、支持者から様々

たいへんなのはそっち

議会休憩時に、ある議員から「匝瑳市は、あんな(共産党の)議員がいて大変だね」と声をかけられた。「冗談じゃないよ。そちらの市民の方が大変だよ」と言ってやりたかった。【Uさん】

「異議あり」をねじ伏せるとは

初めての広域連合議会の傍聴で、議長の開会宣言冒頭から(共産党議員の)「異議あり」の声が上がり、それをねじ伏せ、無視して、議長権限で議事が進められていく。これだけ後期高齢者医療制度に対する批判が広がるなか、千葉県下11議会で反対・見直しの意見書採決が有るにもかかわらず、その市町村を代表する議員が、決議に反して個人的に賛成に回る。一般会計決算や一般質問などに対しても、制度に対する認識・学習が足りないのではないかと、議員としての役目を果たしているだろうかとの疑問に思った。【Iさん】



次回広域連合議会のご案内

2月12日(木)午後1時半
国際能力開発支援センター
(OVTA) 千葉市美浜区ひび野1丁目1番地
 TEL:043-276-0211

*ぜひ、多くの方の傍聴をお願いします。30分ぐらい前にお集まりください。

